

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[vrutrace ユーティリティについて](#)

[vrutrace ユーティリティの使用方法](#)

[VRUTrace ユーティリティを開始して下さい](#)

[VRUTrace ユーティリティを使用する方法に関する例](#)

[例 1](#)

[例 2](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、vrutrace ユーティリティの使用方法について説明します。vrutrace ユーティリティを使用すると、ペリフェラル ゲートウェイ (PG) が Cisco Intelligent Contact Management (ICM) Enterprise Edition 環境の音声応答装置 (VRU) に接続されている場合に、PG の周辺インターフェイス マネージャ (PIM) プロセスに関連する特定のログ ファイルを取得できます。

前提条件

要件

このドキュメントの読者は次のトピックについて理解している必要があります。

- Cisco ICM PG 設定
- VRU に関する知識

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco ICM バージョン 4.5.x および それ 以降
- Microsoft Windows NT バージョン 4.0 または Microsoft Windows 2000

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

[vrutrace ユーティリティについて](#)

VRUTrace ユーティリティは VRU に接続されるとき PG の PIM プロセスに関する規定された ログファイルを取得することを可能にします。

[vrutrace ユーティリティの使用方法](#)

このセクションは VRUTrace ユーティリティを使用する方法を説明します。

[VRUTrace ユーティリティを開始して下さい](#)

コンピュータが次のとおりであるように VRUTrace ユーティリティを実行するために、して下さい:

- ログが含まれている PG に DOS プロンプトか Telnet セッションを通して接続されて必要とします。
- 先のバージョンのための `c:\icr\custname\pgxx\vrucap` サブディレクトリーのより 5.0、またはバージョン 5.0 および それ以降のための `c:\icm\custname\pgxx\vrucap` サブディレクトリー。注ここでは、`custname` および `pgxx` は顧客仕様です。たとえば、顧客が XYZ であり、PG が PG1A なら、サブディレクトリーは `c:\icr\xyz\pg1a\vrucap` です。

VRUTrace ユーティリティ用のオプションはここにあります:

```
vrutrace [ProcessName] [/if InputFile] [/o] [/of OutputFile]           [/bd BeginDate(mm/dd/yy)]  
[/bt BeginTime(hh:mm:ss)]           [/ed EndDate(mm/dd/yy)] [/et EndTime(hh:mm:ss)] [/all] [/prev]  
           [/last] [/binary] [/debug] [/sleep] [/htbt] [/vrustat] [/help]           [/?]
```

[VRUTrace ユーティリティを使用する方法に関する例](#)

[例 1](#)

この例は、2000 年 4 月 29 日から 2000 年 4 月 30 日までの情報を含むログ ファイルからの出力を、バイナリ データの形式で取得する方法を示しています。

```
c:\icr\xyz\pg1a\vrucap\vrutrace pim1 /bd 04/29/2000 /ed 04/30/2000 /binary
```

[例 2](#)

この例は、前回にプロセスを実行したときから現在の日時までの情報を含むログ ファイルからの出力を取得する方法を示しています。

```
c:\icr\xyz\pg1a\vrucap\vrutrace pim1 /last
```

[関連情報](#)

- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)